



イザヤ四十二章5、6節

天を造り出し、  
これを引き延べ、  
地とその産物を押し広め、  
その上の民に息を与え、  
この上を歩む者は  
霊を授けた創造主は  
こう仰せられる。  
わたし、主は、  
義をもってあなたを召し、  
あなたの手を握り、  
あなたを見守り、  
あなたを民の契約とし、  
国々の光とする。

写真/創造セミナー白馬 2019



この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一変によって自分を変えなさい。ローマ人 12: 2



## 科学は真理を探求する!?

宇佐神 実 ジェネシスジャパン会長

写真 / 秋の創造セミナー@白馬 2019

ジェネシスジャパンが主催する秋の創造セミナーは、今年も主の祝福のうちに終わることができました。毎年楽しみに参加して下さる方々も多く、共に創造主の恵みに感謝し、讃美を献げる時となりました。今回は、その時に私が講演させていただいた内容を要約してお知らせします。

### 科学者は何をする？

「科学とは真理を探求するものだ!」と信じている方が日本には多いと思います。そして、ニュースや科学雑誌などで「最新の科学でこれこれがわかった」とあると、

それが絶対的事実かのように感じてしまうのです。このように科学者の発表や成果を正しいと思い込んでしまうことを科学主義とか科学教などと言い、クリスチャンも例外ではありません。

私自身、かつてそのように信じていましたが、カリフォルニア大学バークレー校で「科学哲学」を学び、その思い違いを修正できたのです。科学が探求するのは真理とは限らないのです。

### 科学とは主観的なもの

それまで私は、科学とは常に客観的なものだと思っていました。

現象を説明するために、科学者たちは客観的証拠に基づいて仮説を立て、さらに実験観察によってデータを集め、それに基づいて客観的結論に至るのだと。

しかし、元京都大学教授の日高敏隆は、こう述べています。

科学とは主観を客観に仕立て上げる手続きであってね。主観から出発して、実験をしたりデータを取ったりして、理論を組み立ててみんなを説得してしまう。そのとき他の人がそれ以外の理論を反論として提出できなければ、その時点においては一番正しいということになるわけだ。…だから、科学的事実というものは、まあ一定

間しか存在しないことになる。<sup>1</sup>

科学者が主観から出発するとはどういうことでしょうか。それは、「自分の信じる前提（主観）」が存在し、それに基づいて仮説を立て、証拠を解釈して結論を出すということです。

たとえば、「万物はなぜ存在するのか」を考える時、「創造主はいない」という前提（主観）に立つとあらゆる証拠は「進化した」という視点から解釈し、「こう進化した」という結論に達します。逆に「創造主はいる」という前提（主観）から出発すると、同じ証拠を「創造されたからこうである」という視点で解釈し、「創造が事実である」という結論に達するのです。証拠は、同じ証拠ですが、自分の信じる前提に基づいて違う解釈と結論が導き出されます。そういうわけで、前提が結論を決めるのであって、証拠が結論を決めるのではないのです。

もし進化論を信じている人が聖書を信じると、最初にぶつかるのが天地創造と進化論の矛盾です。そこで進化と創造の両方を信じることはできないかと試行錯誤する人が多くいます。そして進化論を土台として聖書を信じようとするなら、その前提で仮説を立て、証拠を「進化を用いて創造が行われた」等の解釈と結論を導き出すこ

とになります。

個々人が信じる前提が結論を決めるということを私たちはよくよく理解しておく必要があります。それさえ把握しておけば、「進化の証拠が発見された」とか「この化石は何億年前だとわかった」などと聞いても、それはその科学者の信じる事が反映された結論だと理解でき、聖書の創造をそのまま信じる科学者は全く違う結論にいたることを知っているので動揺させられることはありません。

### 科学主義からの脱却

科学は真理を探究するという誤解が生じるのも、ある意味やむを得ないことかもしれません。それは、人が実験観察によって自然界に存在するすばらしい仕組みを解明し、それを真似て技術発展させて来たという実績があるからです。しかし自然の仕組みを真似ることと、解釈することは異なります。解釈は主観が決めるからです。

日高敏隆が述べているように、「**科学的事実というものは、一定期間しか存在しない**」というのは、私たちも体験していることです。

今60代以上の方が小学校の教科書で「人類のあけぼの」として教えられたネブラスカ人（アメリカ人の祖先とされた）は豚の歯の化石に基づいて描かれた図であること、ピルトダウン人（イギリス人の祖先とされた）が人の頭蓋骨とオランウータンの下顎骨をヤスリで削って組み合わせた捏造であることが発覚し、今は教科書から外されています。

2018年にノーベル賞を受賞し

た本庶佑博士も、

よくマスコミの人は「ネイチャー、サイエンスに出ているからどうだ」という話をするけども、僕はいつも「ネイチャー、サイエンスに出ているものの9割は嘘で、10年経ったら残るのは1割だ」と言っていますし、大体そうだと思います。<sup>2</sup>

と述べています。ですから科学者の言は正しいと盲信することは危険なのです。

### 証拠を解釈する

進化か創造かという過去の歴史は再現はできません。しかしそれは生物学だけでなく、地質学や天文学、さらには化学や物理学などすべての科学分野をの根幹にある前提です。

たとえば「地層はなぜあるのか」という問いにほとんどの教科書は「長い年月をかけて少しずつ堆積してできたから」と答えてきました。これは、1840年代にチャールズ・ライエルが無神論に立って「地球も地層も長い年月をかけて現在に至った」という主観に基づいてそう結論づけたので、日本ではそう教えられ続けて来ました。しかし、長い年月をかけて地層が積もるのを誰も観察したわけではありません。

ライエル以前の科学者の多くは、「聖書に書かれているノアの洪水によって大部分の地層ができた」という洪水地質学を信じていました。ノアの洪水を同じ規模で再現することはできませんが、地層を堆積させる実験は可能です。

大きさの異なる粒が混ざり合っ

た土砂を水で流すと、粒の大きさとともにきれいに分かれて、すぐに地層状に堆積します。このことから、地層は長い期間ではなく短期間でできることがわかります。

聖書に基づいて考えればこれはノアの洪水が起こった証拠だと理解できます。現在地質学者たちは地層が短期間で形成されることを観察されています。しかし同じ地層を見ても進化論に基づいて考えるなら一つの層は短期間でも全体は長い間ではないかという進化論的な結論しか考えられません。同じ地層も進化論と聖書で以下のように解釈が異なります。

進化論の解釈 聖書の創造の解釈  
堆積した時期 堆積した時期  
新生代 --- ノアの洪水後  
中生代 --- ノアの洪水後中期  
古生代 --- ノアの洪水初期  
先カンブリア紀 --- 創造～洪水まで

### カンブリア爆発の解釈

先カンブリア紀の地層には表層にあるエディアカラ群と呼ばれる化石を除いて化石が見られませんが、そのすぐ上のカンブリア紀層（古生代）からは、さまざまな種類の生物の化石が発見されます。

進化論ではこれを「カンブリア爆発」と呼び、この時代に突然急激に生物進化が起こりそれらが出現したと説明しますが、なぜ急激に進化が起こったかは様々な推論が提案されています。

しかし同じ事象を聖書の創造に立って考えると、ノアの洪水までは当然化石は存在していなかったが、ノアの洪水が起こり当時生息していたの多くの生物が混濁流



集合写真 / 秋の創造セミナー@白馬 2019

（水と土砂の混ざった流れ）によって地層が堆積する中で化石となって埋没したため、洪水初期の地層から様々な化石が出現するのだと説明できます。さらに言えば、海洋生物が先に埋められ、その後、陸上生物が埋められたため、地層の下層に水生生物の化石が多く存在し、上層に陸生生物の化石が多く存在するのは当然だと解釈できるのです。

また、もし地層が少しずつ堆積するのなら化石はできません。他の生物に食べられたり腐って分解したりして消失してしまうからです。化石ができるためには、大量の土砂で一気に埋められなければならない。

聖書の創造を信じる科学者たちも未発見の事実がわかれば、それまでの結論が間違いとなる可能性があることを知っています。どちらの科学者も行う過程は同じだからです。

しかし誤った前提から出発するのなら誤った結論しかでてきません。正しい前提に立つなら、正しく証拠を解釈することが可能なのです。

多くの人が「創造と進化のどちらが科学的に正しいのか」の答えを求めます。しかしこれは本質的に誤った答えの求め方です。正しくは、「創造と進化のどちらの前

提が真実なのか」です。

### 世に調子を合わせさせられる

ローマ 12:2 は、「この世と調子を合わせてはいけません」と訳しています。実際には、「この世に調子を合わせさせられてはいけません」と受動態で書かれていて、次の文章も「かえって、心の一新によって変えられなさい。」とこれも受動態です。

このことは、「心」すなわち自分の前提がこの世に基づくか、聖書に基づくかで、人はものの見方考え方を前提に合わせてしまうことを意味します。進化論に合わせて聖書を理解しようとするならそのような結論に至ります。この場合、聖書をそのままには信じられなくなります。一方、完全に聖書に基づいて考えるなら、聖書と矛盾しない結論に至ります。

私たちが誰かに自分の体験を話す時、相手が「半分信じるよ」と言っても決してそれで良いとは思わないでしょう。創造主の言葉はどうでしょう。聖書の歴史をそのまま信じる時、私たちが良しとされるのではないのでしょうか。

#### 引用文献

1. 日高敏隆、竹内久美子「もつとウソを！」2000年7月、文藝春秋 pp.75-76
2. 吉川慧「ネイチャー誌、サイエンス誌の9割は嘘」Buzzfeed.news、<<https://www.buzzfeed.com/jp/keiyoshikawa/honjo-kyoto>>



写真 / 神学校の教授と学生たちと共に  
@ミャンマー国シャン州州都タウンジー市  
丘の上に立つ眺望のすばらしい神学校にて

## ミャンマー創造宣教の感想より (抜粋)

伊藤仁宣教師

2019年9月に、ジェネシス・ジャパンの宇佐神実先生がミャンマーに来て、現地教会と神学校で創造論の講義をして下さいました。先生の講義を聞くまでは、創造論の講義について正直、それほど積極的ではありませんでした。進化論は公立学校で教えられておらず、人々もあまり知りません。そのような人々に進化論を否定して論争する話をして意味があるだろうかと考えていました。

しかし、創造論の講義を聞く中で、私の考えが変わりました。まず、講義が子どもや未信者にもわ

かりやすく、自分の日常生活に関連があって、とても面白く興味を持てる話でした。

この創造論の講義は、頭の知識だけではなく、今の自分の生き方の変化をチャレンジする、静かだけど熱い、創造主からのメッセージでした。このような講義だったら、もっと聞いて学びたい、そしてもっと多くのミャンマーの人たちに伝えたいと思いました。神学校の先生も「次回もっと長時間のセミナーをしたい」と言っていました。本当に感謝です。

全文はホームページをご覧ください。



大好評!

どっちがホント? -わたしたちのトリセツ!-

原作/くどうみつえ 作画/なかむらたかこ

中学校を舞台としたどっちがホント最新刊。おなじみのマリちゃん・司郎ちゃん・秀君にジェネシスジャパン名誉会長の宇佐神正海先生が加わってヤキイモを食べながら創造の証拠や救いを証します。

定価 350円 + 税 A5判 内容 44ページ

## 創造を伝える働き人養成講座

### 【募集要項】

- ・聖書の言葉が創造主の言葉だと信じる人。
- ・御子イエス・キリストを救い主と信じている人。
- ・創造を信じることの大切さを学び、伝えたいと願っている人。

### 講座の目的と概要

- \* 創造主のみわざのすばらしさに感動し、その感動を伝える働き人が起こされる
  - \* 創造論の講演に加え、創造論の背景となる知識や考え方を少人数で学ぶ
  - \* 創造を伝えるのに使える資料の提供
  - \* 修了証授与 (全日程参加者)
  - \* 創造論を用いての個人伝道、CS や教会でのメッセージ、講演ができるように協力
- 2泊3日5食・定員 12名・参加費 3万円

### 講座開催予定

高知県・高知市 2020/02/15 頃 (手話講師養成)  
高知県・四万十市 2019/02/11~13 火-木  
その他の開催地も現在準備中  
詳細はジェネシスジャパンへお問い合わせください